

令和3年度 第1回枚方市オレンジ初期集中支援チーム意見交換会 議事録

日時：令和3年7月13日（火）14：30～

<参加機関（順不同）>

東香里病院・松谷病院・地域包括支援センター・市健康福祉総合相談担当・市健康増進・介護予防担当

1. 認知症施策検討チーム・認知症初期集中支援検討チームについて

令和3年度庁内機構改革とそれに伴う組織体制の変更について説明。

2. オレンジ初期集中支援チームの支援状況・課題について

令和2年度意見交換会まとめ参照

医療機関チーム員より：本人や家族があまり困っていない事例の介入が難しい。どうにか医療機関に繋いだとしても、医療の必要性が明確でないと医師の対応が今後の支援に繋がらないこともある。当事者が困っていないと解決の着地点が分からない。インフォーマルな社会資源を利用していた方が、コロナ禍で社会とのつながりが途絶えてしまった方もいる。

市役所より：元来枚方市では、「認知症の初期」の方をこの事業の対象と設定しているので、介入の難しさは理解できる。事業の活動期間である6か月で解決しなかったとしても、関係者が支援方針を統一することで、2年後、3年後に症状が進行した時、それが家族にとって支援のヒントになるなど、将来の布石になれば発動の意義はある。

地域包括支援センターより：この事業の利用にあたり、発動に積極的な包括もあれば、消極的なところもあるのが現状。もっと理解を深めあって、活用を広げられるようにしたい。

3. 令和3年度オレンジ初期集中支援チームの活動について

認知症初期集中支援検討チーム年間予定について検討。

- ・令和3年7月意見交換会開催。今年度の活動について、スケジュール・内容・役割分担等を協議する。
- ・令和3年秋頃地域包括支援センター（以下、センターと記載）向け認知症地域支援推進員向け研修開催。事業利用に係る実務やチーム員の活動紹介を行う。
- ・令和3年12月頃意見交換会開催。活動の振り返り・認知症初期集中支援チーム検討部会に向けて協議。

4. 認知症地域支援推進員向け研修について

・研修概要（目的・目標・役割分担等）を協議。令和2年度発動の1事例をもとに、相談受付から発動の判断や発動依頼、チーム員会議の具体的動きがイメージしやすいよう、ロールプレイ方式で進める。

・理解を深めたい内容は、相談受付から発動までの判断、初動の確認、事務作業の手続き（書類作成や提出）、効果的な活用方法。

・チームを活用することで、6か月間無料で訪問看護を利用できる感覚を持ってもらえればと考える。発動のきっかけや発動に期待することと、チームの動きが異なることもあるが、最終的に支援方針にずれが生じないように事前にゴールの共有をしている。

本来なら、専門医からの意見は受診する必要があるが、発動することで、サポート医の意見を聴くことができるのは大きなメリット。研修内容に盛り込んでいく。

以上

令和3年度 第2回枚方市オレンジ初期集中支援チーム意見交換会 議事録

日時：令和3年12月7日（火）14：30～

<参加機関（順不同）>

東香里病院・松谷病院・地域包括支援センター・市健康福祉総合相談担当・市健康増進・介護予防担当

1. 令和3年度オレンジ初期集中支援チームの支援状況・課題について

医療機関チーム員より：当初の目的とは違った着地点になったケースもあったが、対象者夫婦を見守っていく支援ができた。また、初期の認知症のケースでは、本人よりも夫の行動変容に着眼点をおいて支援した。このケースでは、多様な視点を持って支援を模索していくことを学んだ。

初回訪問時、職員の人数が多かったことで苦情を受け初回訪問後終了したケースがあった。センターには1人での訪問を打診していたが、訪問調整を煩わしく感じた本人が直前に担当変更を申し出たため2人訪問となった。急遽訪問キャンセルになっても問題ないことを伝えておく等、事前にセンターと丁寧に打ち合わせし、スムーズにアプローチできる方法等を検討する必要だと考えた。

介護保険サービス等につなげなかったが導入に至らなかったケースもあり、心残りに感じている。全体的に発動件数が少なく、課題を抽出するにも、まずは活動を積み重ねることから始まる。

2. 令和3年度オレンジ初期集中支援チームの活動について

令和3年10月センター向け認知症地域支援推進員向け研修開催。事業利用に係る実務やチーム員の活動紹介を行う。「わかりやすかった」「今後利用したい」との意見が多く、今後に期待できる結果となった。

3. 令和3年度認知症初期集中支援チーム検討部会について

令和4年2月10日（木）15時～ 保健センター 小会議室にて開催予定。

テーマは、オレンジ初期集中支援チーム発動状況・活動報告、研修報告、意見交換会報告、次年度の取り組み、各機関の取組紹介。

4. 令和4年度オレンジ初期集中支援チームの取り組みについて

・今年度は支援チームをより効果的に活用できるよう、センター職員向けに研修を開催。研修を通し、センター職員のチームの支援に関する理解が深まった。また、枚方市介護支援専門員連絡協議会会報や令和4年2月開催のオレンジカフェ交流会案内発送時に、支援チーム案内ちらしを同封、周知を図る予定。

・次年度の取り組みとしては、支援チームについて外部機関へ周知を図ることが重要。枚方市三師会、特に枚方市医師会と連携、協働して研修を開催する等、関係機関への働きかけを検討、実施していく。その他、グループホームやオレンジカフェ、認知症サポーターや認知症施策に関心の高い企業等に向けたアプローチも検討、取り組んでいく。

次回打ち合わせ：令和4年度6月頃

以上